



図書館だより2月号

土浦二高図書委員会

こんにちは、図書委員会です。2月は雪が降り、寒い日が続きましたが、ここ最近春の兆しも感じられるようになってきましたね。生徒の皆さんも定期テストや模試等が続き、日々の学習に取り組んできて、やっと落ち着いて過ごせるようになったところでしょうか。

3年生は、卒業です。おめでとうございます。図書委員会でも、6月の文化祭まで、活発に活動をしてきてありがとうございました。

1、2年生は新学年への進級準備です。あと1ヶ月頑張りましょう。



図書委員コーナー

このコーナーでは毎月担当の図書委員が、おすすめの本や本にまつわるものを紹介します！

『〈物語〉シリーズ』 西尾維新（講談社）

〈物語〉シリーズは、高校生の阿良々木暦が怪異に関わる少女たちを助けながら、自分の過去や心と向き合っていく青春怪異譚。著者である西尾維新の、独特のコミカルな会話劇と言葉の掛け合いの多い作風が個人的に最大の魅力です。さらにユーモア、切なさが混ざり、ミステリーと恋愛、成長物語が同時に味わえるのも魅力。読むほど登場人物の本音が見えてくる。また、アニメ化、漫画化もされており、そちらも大変素晴らしい作品となっています。

これぞ現代の、怪異！怪異！怪異！

「青春に、おかしなことはつきものだ！」 —化物語 上 背表紙より



(2年7組 秦野 優花)



先生にインタビュー

図書委員が先生方に、「おすすめの本」や「思い出の本」、また「本に関する思い出」などをインタビュー！みなさんに紹介していきます。

三谷 俊介先生（理科）

Q.好きな本はなんですか？

A.「変な家」 雨穴（飛鳥新社）

一見普通の家の間取りから、一つの違和感が浮かびます。考えているうちにまた一つ二つと出てくる違和感。図面を読み解くにつれて浮かび上がる不可解さから狂気を感じられます。図面を見ながらその間取りに込められた意味を解き明かす楽しさ、自分の家の壁も確認したくなるゾクゾク感が味わえる一冊です。

Q.いつ読みましたか？

A.去年の1月

Q.なぜ読もうと思いましたか？

A.去年から年間5冊本を読もうと目標を立て、その時の記念すべき一冊目として話題性があり、読みやすいと評判のミステリー小説だったからです。

Q.好きなジャンルは？

A.ミステリーです。アガサ・クリスティの作品もぜひ読んで欲しい。



(2年7組 秦野 優花)

本の貸し出し期限について

本年度の1、2年生への本の貸し出しについては、3月11日(水)で終了します。

以降、貸し出しは行いません。また、3月11日(水)までに借りた本は、3月17日(火)までに必ず返却してください。

◎学校図書館は、皆さんの物です。ルールを守って、有効に使いましょう！！

